

授業科目名・形態	病態治療学Ⅱ（眼科） 演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名	吉田 希望	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

医学は科学的な根拠（エビデンス）に基づいて行われることが望ましいが、実際には経験から学ぶことも多い。進歩する学問の中で見えることに対して行われている研究を紹介しながら、眼科疾患の理解を深め看護に生かせる知識を身に付けてほしい。

【到達目標】

1. 眼球の構造と機能を学び、物が見える仕組みを理解する。
2. 眼疾患が与える心理的、社会的な問題について理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 眼の構造と機能 見えることについて
 第 2 回 眼症状と疾患について
 第 3 回 全身疾患と眼の関連について

【授業実施方法】

講義

【授業準備】

教科書の予習

第 1 回 p14-22 第 2 回 p28-31、p110-114、p117 第 3 回 p96-99

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

系統看護学講座 専門 17 眼、成人看護学[13] 第 11 版（医学書院）

【参考文献】

特になし

【成績評価方法】

筆記試験で 100%評価する

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

眼科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

1. 見えることに対する理解を深めること（選択問題で配点 50 点）
2. 緊急性の眼疾患を見逃さないこと（記述問題で配点 50 点）